

## GHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)とは

2003年7月「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」(The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals: GHS)が国連勧告として発出されました。GHSは化学品の危険有害性を一定の基準に従って分類し、絵表示等を用いて分かりやすく表示し、その結果をラベルやMSDS(Material Safety Data Sheet:化学物質等安全データシート)に反映させ、災害防止及び人の健康や環境の保護に役立てようとするものです。

その後GHS文書の改定作業が行われ、2005年7月には改訂版が出版されました。英語版など国連公用語のGHS文書(通称:パープルブック)の入手方法は国連危険物輸送のWEBページ(国連欧州経済委員会UNECEのWEBページ)から入手できます。

なお、GHSの日本語版への翻訳(改訂初版)は関連省庁が共同で作業を行い、厚生労働省、経済産業省、環境省などのWEBサイト等で閲覧あるいはダウンロードできます。また、GHS関係省庁連絡会議では、化学物質のGHS分類を進めており、その分類結果は独立行政法人製品評価技術基盤機構GHS分類結果データベースに掲載されています。

### 健康に対する有害性

急性毒性	発がん性
皮膚腐食性/刺激性	生殖毒性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	特定標的臓器毒性(単回暴露)
呼吸器感作性または皮膚感作性	特定標的臓器毒性(反復暴露)
生殖細胞変異原性	吸引性呼吸器有害性

### 絵表示の例

